

いちごプロジェクト



オフィスの節電にご協力ください。

無理なく

無駄なく

快適に

オフィスで出来る 冬の節電対策

可能な範囲で便座・温水の設定温度を下げ、使わないときは蓋を閉めましょう。

温水洗浄便座

照明

可能な範囲で執務室や店舗エリアの照明を間引きしましょう。
(節電効果は照明を半分程度間引きした際の数値)

使用していないエリア(会議室・廊下等)の消灯をしましょう。

節電効果
約8%節電効果
約3%

給湯器の温度を下げて、洗い物をしましょう。
給湯器を買い換える場合は、省エネタイプのものも検討しましょう。

給湯器

設定温度を見直したり、省エネモードにしましょう。
使わないときには、電源をオフにしましょう。

電気ポット

長時間使わないときは、電源を切るか、スタンバイモードにしましょう。

節電効果
約4%

使用していないエリア(会議室・休憩室・廊下等)は空調を停止しましょう。

節電効果
約2%

重ね着やひざ掛けなどを活用し、無理のない範囲で室内温度を下げましょう。

節電効果
約3%

空調

オフィスの節電にご協力ください。

全オフィスで消費電力の1%を節電すると、毎日、家庭約12万世帯が消費する電力と同程度のエネルギーが削減できます。

出典：経済産業省 省エネポータルサイト

※省エネ効果は一日間のオフィスでの電力使用量に対する省エネ効果の概算値で、地域・時間帯による違いを考慮に入れた全国平均の値です。地域・時間帯により省エネ効果は変動します。

「いちごプロジェクト」とは？

「いちご」のネーミングは、2011年夏の節電目標「15%」に由来しています。
いちごは「毎年実をつける多年草」であり「全国各地で広く栽培」されます。そのイメージを、毎年法人会の女性部会が全国的に継続して取り組む社会貢献活動に重ねました。

「法人会」とは

法人会は、税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体です。
現在、全国各地に440単位法人会があり、県単位の連合体として41都道県連が組織され、約70万社の企業が加入しています。法人会では「税知識の普及」「租税教育」「地域社会貢献」などを中心に、地域に密着した活動を展開しています。

